

平成26年3月24日

南砺市長 田中幹夫 様

城端地区自治振興会
会長 坂井 隆



2台の消防ポンプ自動車の継続の要望について

今年は、8町村が合併し南砺市が誕生して10年の節目を迎えます。

田中市長におかれましては、広報なんとの「年頭のごあいさつ」の中で、100年先の幸せを考えると、大切なのは「何をつくるか」ではなく「何を残すか」また、「受け継がれていく」という信頼感こそが、大きな満足感と安心を生むとも書いておられます。このことは城端地区自治振興会としましても、これからの取組の励ましのメッセージの一つとして受け止めて頑張っていく所存です。

さて、去る3月2日当自治振興会(防犯・安全班)が13ヶ町内の住民に呼びかけて、初めての企画、視察研修を実施いたしました。13ヶ町区長を始めとして35名が参加し富山県広域消防防災センター・四季防災館、県西部消防指令センター、そして、南砺市役所福野庁舎では南砺市の消防行政の現状と3月着工となる仮称「南砺消防署」の概況説明を聴かせていただきました。

その中で、今後の課題として、消防施設整備方針についても説明いただき城端分団屯所の統廃合、ポンプ車の台数検討調整方針についての説明がありました。

その内容は、

- ① 城端分団(13ヶ町)など一つの分団には、原則消防ポンプ自動車2台から1台減らして配備する。
- ② 小型動力ポンプ積載車を市の整備計画に基づき配備する。

との説明でした。

このことは、城端地区にとって、消防力の低下につながりかねない重要なことと考えています。

つきましては、現在の消防ポンプ自動車 2台の確保と継続を維持していただくことをここに13ヶ町区長の連盟とともに、強く要望いたします。

城端地区の特性として、市街地に木造建築物が密集していること、現に保有している消防機材の状況、つまり現状を維持するために、それぞれの地域事情や特性を考慮していただき、柔軟に対応していただきますよう重ねてお願い申し上げます。

今後も、起こりうる災害に対する事前対策の必要性を認識し、しっかりと地域に密着した活動を、消防城端分団と協力して、力強く展開していきます。



平成 26年 3月

城端地区

出 丸 町 区 長

安 居 博



東 下 町 区 長

林 吉 宏



川 島 区 長

山 本 修 一



西 下 町 区 長

沢 田 征 司



西 新 田 区 長

坂 本 光 夫



東 上 町 区 長

千 原 正 樹



西 上 町 区 長

勝 川 進



大 工 町 区 長

河 村 辰 男



東 新 田 区 長

古 瀬 泰 志



新 町 区 長

永 井 良 幸



南 町 区 長

木 下 巖



野 下 町 区 長

篠 原 憲 夫



大 宮 野 区 長

中 島 聡

